



# あるく

4号「あるく」2024年11月

地域を歩いて  
みんなで  
考えよう

vol.04

お任せ民主主義から、  
一歩、一歩、民主主義を  
バージョンアップしよう！

原発の再稼働をするか、  
しないかだって、  
私たちの投票で決めよう！

## つくばみらい市の皆様へ

東海第二原発の安全対策工事で、防潮堤工事の不良があり、工事の延長が明らかになりました。現在、原子力規制委員会で審査中で、どのような追加工事になるかは未確定です。日本原子力発電(株)は「安全対策工事を2026年12月未まで延長する」と発表しています。

「県民投票の会」では、延期の期間をボーナスタイムととらえて、各支部で東海第二原発に関する学習会や、県民投票運動についての対話に力を入れていくことになりました。「つくばみらい市原発県民投票の会」も、イベントや学習会を通して県民投票の実現に力を注ぎたいと思います。皆様のご協力のほどよろしく申し上げます。今後の活動について次の通りとなりました。

(1) 下記のいずれかの動きが見えたら署名活動開始を検討する

- ①安全対策工事が終了
- ②14自治体が避難計画を作成
- ③県議会に再稼働を求める請願が出る

(2) 署名活動開始までの運動方針

- ①前回より署名数を増やす
- ②地域ごとに支部を立ち上げる
- ③多くの人に情報を届ける

「つくばみらい市原発県民投票の会」のHPができました！

<https://miraitohyo.wixsite.com/home>



# つくばみらい市は、 東海村民9502名の避難所 になっています



新しく、東海村広域避難計画「原子力災害に備えた東海村住民避難計画」が23年12月に策定されました。計画では、東海村から、つくばみらい市への避難者が9502名となります。1人当たりの避難所の必要面積が、コロナ後に見直され、それまでの「2平方メートル」から「3平方メートル以上」になり、公共施設だけでは賄いきれなくなり、民間施設も借りることになりました。そのことで、個別の避難所が公開されなくなりました。また、伊奈庁舎と谷和原庁舎に一旦集合し、そこから各避難所に回るという計画で、9502名が2カ所に集中し、混乱するのではないかと考えられます。

この計画も、能登の地震を受けて、避難路等が災害を受ける二次災害を想定していないこともわかり、実効性のある避難計画とは言えない状態です。マスコミの取材に、東海村の山田村長は「複合災害の場合を含めれば、(避難計画を)ゼロから検討するしかない」と述べました。これでは、再度の見直しが必要となりますね。

詳細は「原子力災害に備えた東海村。住民避難計画」で。  
東海村ホームページから見られます。





?

# 「県民投票って何？」

「東海第二原発の再稼働が計画されているけれど、県民が再稼働をどう考えているか知りたくない？」と知人から「いばらき原発県民投票の会」に誘われた。県民投票を行えば、賛成の人反対の人、それぞれ何パーセントとはっきりする。「賛否がどのくらいなのか、ぜひ知りたい！」ということで会に参加することになった。はじめは、「県民投票希望」の署名をいくらか集めて、県議さんか県議会に持っていくと、選挙管理委員会あたりが動いて県民投票実施となる、くらいのイメージだった。ところがどっこい、実際はそんなシンプルではなかった。県民投票を行うには、地方自治法に従って手続きを進める必要がある、のだそうだ。流れはこんな感じだ。

## 1. 「県民投票実施＝県民投票条例の制定」を請求する署名集め。

- ・有権者の1/50以上の署名を2か月間で集める。
- ・集めるのは、勝手に集めるのではなく、署名集めを任される人＝「受任者(一部を除き有権者なら誰でもなれる)」として登録した人が集める。

## 2. 集まった署名を県知事に提出すると、知事は意見をつけて県議会に提案。

## 3. 県議会で審議して、可決されると県民投票条例制定。

## 4. この制定によって、県知事は再稼働の賛否を表明する前に県民投票を行うこととなる。

以上、結構ややこしい。でも、原発を再稼働するか・しないかは私たちの生活に大きな影響を与える可能性がある。電力需給のバランスは？電気料金は？地震や津波がきても大丈夫？事故が起きた時の対策は？…等々。世界には、国にとって大切なことは、年に数回でも国民投票を行って決める国もあるという。大事なことはみんな決めたい。県民投票をぜひ実現させて県民の意思を確認し、施策に反映されれば良いと思う。(詳しくは「いばらき原発県民投票の会 HP」をご覧ください)

《参考》つくばみらい市の有権者数:43211人(2024年10月14日現在)

なので、署名は $43211 \times (1/50) = 864.22 \rightarrow 865$ 筆以上必要



[活動報告]

# 青木美希氏 講演会報告

ジャーナリスト・作家



10/14(月・祝) 取手会場、河内町会場

青木美希氏の講演会が2会場で開催され、合わせて65名の参加がありました。私は取手会場の方に参加しました。福島第一原発事故後、取材や調査した内容が次から次と伝えられ、さらに今の福島の様子などが映像で映し出されます。原発事故の収束には程遠い現状を目の当たりにした思いでした。また、JCO事故当時の村上村長のインタビューも驚くような内容でした。原発はひとたび事故を起こすと、どれだけ影響が大きく、また長引くかを再認識しました。

## お知らせ

●12月15日(日) 県民投票カフェ(定例会)10:00~11:30  
(今回は会場の都合で第3日曜日となります)



簡単な定例会後、東海第二原発に関する、茨城大学の原口教授(社会学)の講演映像を見ての学習会を行います。「東海第二原発の再稼働を考える — 福島原発事故の教訓は忘れ去られるのか」(原子力市民委員会)<https://www.ccnejapan.com/?p=15470>

●1月12日(日) 県民投票カフェ(定例会・第2日曜日)10:00~11:30

「県民投票」についてのご質問、会の活動についての資料などをご希望の方は下記までご連絡下さい。

○つくばみらい市原発県民投票の会  
連絡先：090-8580-1288 (野口修)

○いばらき原発県民投票の会  
<http://ibarakitohyo.net>  
e-mail : [ibarakitohyo@gmail.com](mailto:ibarakitohyo@gmail.com)

